

世界遺産「富士山」！



世界遺産「富士山」の後世継承

「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」が世界遺産に登録され、富士山の後世継承に向けて、官民あげて様々な取組が行われています。

1月22日に、富士宮市において、「第3回富士山世界文化遺産協議会」が開催され、富士山利用者負担制度等について協議が行われました。富士山利用者負担制度については、名称を「富士山保全協力金」とし、できる限り対象者全員から協力が得られることを目指す協力金（寄付金）として平成26年の夏山シーズンから開始することが決定しました。

また、2月23日には、世界遺産登録後、初の「富士山の日」を迎えました。グランシップで開催された「ふじのくに芸術祭2014」や、「富士山遊びと学びのイベント」など、富士山の後世継承に向け、多彩なイベントが開催されました。

News List

- ◎ 第3回富士山世界文化遺産協議会
- ◎ 富士山の日フェスタ2014
- ◎ 葎山反射炉の推薦書(正式版)提出
- ◎ 富士山周辺の環境保全活動等

第3回富士山世界文化遺産協議会開催

本年1月22日に、富士宮市において、「第3回富士山世界文化遺産協議会」が開催され、富士山利用者負担制度等について協議が行われました。この協議会は、資産の保存管理及び整備活

用に関する事項の協議等を目的に、静岡・山梨両県知事及び教育長、関係市町村長及び教育長、国（環境省、林野庁、国土交通省）の出先機関の長を構成員として設置されています。

富士山利用者負担制度については、名称を「富士山保全協力金」とし、富士山の環境保全と登山者の安全対策を目的に、法的に強制力はないが、できる限り対象者全員から協力が得られることを目指す協力金（寄付金）として平成26年の夏山シー

ズンから開始することが決定しました。

金額は二〇〇〇円を基本とし、対象者は五合目から山頂を目指す登山者で、実施期間は登山道開通期間、一定の時間帯に現地に係員を配置するほか、インターネットやコンビニ払い等の方法も併用して、24時間実施してまいります。

いただいた協力金については、静岡・山梨各県で基金を設置して管理し、富士山の環境保全や登山者の安全対策、富士山の普遍的価値の情報提供など、富士山五合目以上の新規事業及び事業の拡充の財源に充当します。具体的な事業については、事業選定委員会（仮称）を設置し、毎年度審議して決定してまいります。

富士山・玉山友好山提携

2月7日、山梨県富士吉田市において、日本富士山協会と台湾の民間団体である中華民国山岳協会との間で、富士山と玉山（台湾）の友好山提携の調印式が行われました。

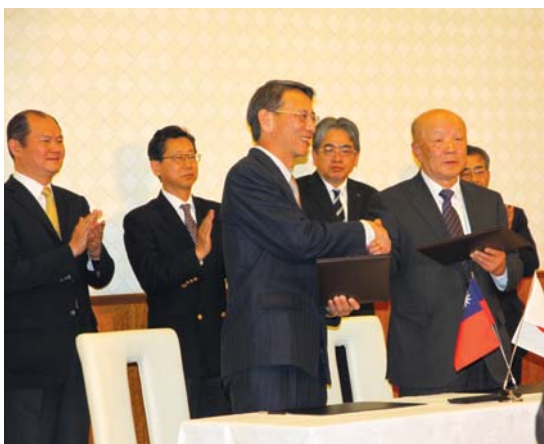
玉山は、標高3952mに達する台湾最高峰の山で、周囲は台湾自然生態保護区、玉山国家公园に指定されています。

両山は、それぞれの国を象徴する名山であり、自国民の尊崇を集め、国際的にも広く認知されるなど、数多くの相似点があります。

今後は、両山地域住民同士の相互理解を深め、友好関係を将来に向かって一層発展させていくため、相互の訪問交流を活発に行ってまいります。



玉山(台湾)



富士山・玉山友好山提携調印式

富士山の日フェスタ2014

世界遺産登録後、初の「富士山の日」を迎える2月23日。グランシップで開会された「ふじのくに芸術祭2014総合開会式」を始め、県内各地で富士山について楽しく学べる多彩なイベントが開催されました。

静岡県では、世界に誇るべき日本の財産である富士山についての理解・関心を深めるために、富士山憲章の理念に基づき、平成21年に2月23日を「富士山の日」とする条例を公布しました。

世界遺産登録を機に静岡・山梨両県は連携を一層強め、富士山の価値の後世継承に向けた活動とともに、富士山の名に恥じることのない人づくり、地域づくりを国民運動として展開してまいります。

「富士山の日フェスタ ふじのくに芸術祭2014総合開会式」

2月23日(日)14時から、グランシップ中ホール「大地」において、「ふじのくに芸術祭2014」が、オープニング宣言により開幕しました。モンゴル国立フィルハーモニー交響楽団や常葉大学短期大学部音楽科ウインド・オーケストラの演奏のほか、静岡県オペラ協会によるオペラ歌曲の演奏や静岡県現代舞踏協会の舞踊など、霊峰富士を感じさせる演奏・演技が披露され、会場の観客を魅了しました。



富士山 遊びと学びのイベント(富士山こどもの国)

秀景ふるさと富士写真展

2月19日(水)から3月2日(日)にかけて、静岡県立美術館県民ギャラリーにおいて、秀景ふるさと富士写真展が開催されました。この写真展では、「富士」の名前をつけた“ふるさと富士”の写真を全国から募集した「第4回秀景ふるさと富士写真コンテスト」における入賞作品を展示しました。

富士山 遊びと学びのイベント

県東部と西部の会場で、親子で富士山について楽しく学べるイベントを開催しました。

東部会場となった「富士山こどもの国」では、223(ふじさん)連凧揚げや雪上富士山〇×クイズを実施し、参加した子どもたちは大喜びでした。

西部会場となった「プレ葉ウォーク浜北」では、富士山パネル展や常葉大学自然活動研究会の学生によるネイチャークラフトのコーナーが設けられ、子どもたちが楽しく参加しました。



富士山 遊びと学びのイベント
(プレ葉ウォーク浜北)

韮山反射炉の世界遺産登録に向け推薦書(正式版)を提出

静岡県では、平成24年度から「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会に加入し、伊豆の国市を始めとした関係自治体、関係省庁と連携し、韮山反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録に向けた取組を進めてきました。その結果、本年1月末に、推薦書(正式版)が日本政府からユネスコ世界遺産センターに提出され、登録に向け、大きく前進いたしました。

今後は、ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査等を経て、平成27年の夏頃に開催される世界遺産委員会で登録の可否が決定します。

県では、引き続き関係機関等と連携し、イコモスの現地調査等への適切な対応を図り、平成27年の世界遺産登録が確実となるよう、万全を期してまいります。

平成26年夏～秋
イコモス(国際記念物遺跡会議)による現地調査

平成27年5月頃
イコモスによる評価結果の勧告

平成27年夏
第39回世界遺産委員会での審議



韮山反射炉と富士山(伊豆の国市提供)

株式会社「日本パープル」の環境保全活動

株式会社「日本パープル」(本社:東京都港区)では、「自ら汗し、環境問題に取り組んでいこう」と提唱されてきた先代社長の意を汲み、現社長の林壮之介さんのもとで、社員はもとより取引企業の方々にも呼びかけて、富士山の環境保全活動に取り組んでいます。

平成24年度までは、登山者にゴミ袋を配布し、ゴミ回収の呼びかけを実施してきましたが、平成25年度からは、7月15日から8月末までの毎週末に、社員が登山道に行き、ゴミ回収活動を実施し、回収したゴミを自治体指定の処分業者に自社車両で搬入し、適正な処分をしています。

また、須走口登山道がある小山町の町内清掃も実施し、富士山の山体をきれいにするだけでなく、周辺も含めた富士山全体の保全活動を展開しています。

こうした富士山の環境を保全する取組の輪をぜひ広げていきましょう。



世界に誇る日本のシンボル富士山を
みんなで未来へ引き継いでいこう!



発行 静岡県文化・観光部 交流企画局 富士山世界遺産課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 <http://fujisan-3776.jp>
TEL.054-221-3746 FAX.054-221-2827 e-mail sekai@pref.shizuoka.lg.jp